

- コース距離：12.0km
- 歩行時間：5.0時間

- 1 JR南千住駅
↓0.3km
- 2 南千住回向院
↓0.2km
- 3 首切り地蔵
↓0.6km
- 4 汨橋
↓0.3km
- 5 山谷
↓1.0km
- 6 吉原神社
↓0.3km
- 7 吉原観音
↓0.8km
- 8 鷺神社
↓1.7km
- 9 今戸神社
↓0.8km
- 10 隅田公園
↓0.3km
- 11 待乳山聖天
↓0.7km
- 12 浅草寺
↓2.8km
- 13 入谷鬼子母神
↓2.2km
- 14 JR日暮里駅

9 今戸神社

康平6(1063)年に源頼義、義家親子が奥州討伐の際に、京都の石清水八幡宮を勧請したのが始まりといわれる。拝殿には招きネコが置かれている。縁結びの神社として若い女性やカップルでにぎわい、良縁を願う多くの絵馬が奉納されている。また境内には新選組の沖田総司の終焉の地の碑が建てられている。

10 隅田公園

隅田川を挟んで台東区と墨田区にまたがる公園。野球場、陸上競技場、スポーツセンターなどがある。春には桜の名所として、夏には隅田川花火大会の会場として多くの観光客を集める。

8 鷺神社

あめのひわしのみこと やまとたけるのみこと 天日鷲命と日本武尊を祀る由緒ある神社。「おとりさま」という名で親しまれ、崇敬されている。樋口一葉の「たけくらべ」をはじめとして文学作品にも多く登場している。11月に行われる酉の市は多くの参拝客で賑わう。



12 浅草寺

推古天皇36(628)年の創建とも伝えられる東京都内最古の寺院。もとは天台宗だったが戦後独立し、聖観音宗の総本山となった。都内でも有数の観光地で年間を通して多くの参拝客を集めるが、最近は特に外国人観光客に人気のスポットとなっている。雷門や仲見世通りは浅草寺のシンボルともなっている。



11 待乳山聖天

隅田川沿いの小高い丘に建つ寺院で正式名は待乳山本龍院。浅草寺の子院の一つである。参道になる石段の入り口に池波正太郎の生誕地の碑がある。浅草名所七福神の毘沙門天の札所でもある。1月7日には大根祭りが行われ、参拝客に風呂吹き大根とお神酒がふるまわれる。



13 入谷鬼子母神

「おそれ入谷の鬼子母神、びっくり下谷の広徳寺、なんだ神田の大明神」などという江戸っ子の言葉遊びでおなじみの入谷鬼子母神。正式名称は真源寺。境内と門前で7月に開かれる朝顔市は夏の風物詩となっている。下谷七福神の福祿寿の札所でもある。



快汗ウォーキングコース

南千住駅から汨橋、山谷、吉原、浅草、入谷を経て、日暮里駅へと歩く半日コース



ビミョーに似てない
矢吹丈の立像
(山谷にて)

1 JR南千住駅

JR東日本常磐線の駅で、首都圏新都市鉄道のつくばエクスプレスも乗り入れている。すぐ近くに東京メトロ日比谷線の南千住駅もある。

2 南千住回向院

江戸時代から明治初期にかけてこの地にあった小塚原刑場での刑死者を供養するために、寛文7(1667)年に両国回向院の別院として創建された。安政の大獄で処刑された橋本左内、古田松陰、頼三樹三郎らの墓がある。また、蘭学者杉田玄白、前野良沢、中川淳庵らが刑死者の腑分けに立ち会ったことを記した観臓記念碑もある。

観臓記念碑



3 首切り地蔵

小塚原刑場の跡地である延命寺には高さ約3mの地蔵が建てられており、通称首切り地蔵と呼ばれている。



5 山谷

現在は山谷という行政上の地名はなく、台東区清川、日本堤周辺を指す。高度成長期に寄せ場(ドヤ街)として日雇労働者が集まるようになり、岡林信康の曲「山谷ブルース」で全国的に有名になった。低料金で宿泊できる簡易宿泊所が立ち並んでおり、浅草、上野、秋葉原、銀座などの繁華街への便も良いことから、今では多くの外国人観光客にも利用されている。



6 吉原神社

台東区千束3丁目にある神社。新古原遊郭の四隅に祀られていた稲荷社と玄徳稲荷社を合祀して明治5(1872)年に創建された。浅草七福神の弁財天を祀る神社でもある。

7 吉原観音

吉原神社の近くにある観音像。大正12(1923)年に起きた関東大震災で吉原にいた遊女500人近くが当時近くにあった弁天池で溺死するという痛ましい事件があった。吉原観音はその人たちの供養のために大正15(1926)年に建てられた。



Walking Course

